

園児ら合唱、ダンス

長久手 幼児文化芸術祭に1500人

県内の幼稚園児と保一「第一回幼児文化芸術祭」が二十四日、長久手市の愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で開かれた。千五百人が来場し、園児らの合唱やダンスを楽しんだ。



声をそろえて歌う子どもたち＝長久手市の愛・地球博記念公園で

園児ら
の合唱やダンスを楽しんだ。

県内の私立幼稚園七園が加盟する財団法人幼児文化芸術協会が主催。子どもたちに幼いころから質の高い芸術に触れさせようと初めて企画された。

メイン会場の体育館では、園児らがバレエやワルツを披露。ソプラノの基村昌代さんやバリトンの松下伸也さんらプロの音楽家が歌声を披露した後、園児と保護者有志ら五百人が、ベートーベンの交

響田第九番を基にした「希望の歌」を合唱した。

書道体験やアフリカの民族楽器体験コーナー

ももあり、多くの親子連れでにぎわった。岡田勝彦会長は「最近では子どもを幼稚園に預けつきり、一緒に歌

ったり踊ったりする機会がない。親子の絆を深めるためにも毎年開きたい」と話した。

(原田晋也)